

令和6年8月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 令和6年8月1日（木）10時
- 2 場 所 本館4階 第1委員会室
- 3 出席者 教育長 蔵元洋一
教育委員 衛藤修身、八木秀和、太田かおり
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 教育部長 清水秀一
教育総務課長 山口研治
学校教育課長 船元幸徳
指導室長 靄 浩二
生涯学習課長 深川英明
学校教育課課長補佐 掛橋賢議
生涯学習課課長補佐 大畑祐一郎
教育総務課教育総務係長 秦 薫
- 6 傍聴人 3人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

定 例 教 育 委 員 会 議 事 日 程

令和6年8月1日(木) 10時00分

1 会議録の承認

令和6年7月定例教育委員会の議事録の承認

2 報告事項

(1) 令和6年8月学校教育行事及び社会教育施設行事について

(2) 出校日について

3 協議事項

(1) 令和6年9月定例教育委員会の日程について

[開会時刻：１０時００分]

蔵元教育長 定刻となりましたので、令和６年８月定例教育委員会を開催いたします。
それでは、レジュメに沿って進めさせていただきます。令和６年７月定例教育委員会の議事録の承認についてお諮りいたします。内容についてはよろしいでしょうか。

教育委員 <<承認>>

蔵元教育長 ありがとうございます。それでは、報告事項に移ります。
令和６年８月学校教育行事及び社会教育施設行事について、それぞれ説明をお願いします。

鶴指導室長 ８月の学校行事について説明します。
共通行事についてです。８月６日は全ての小中学校が出校日となります。各学校では、読み物資料や視聴覚教材等を使って、学年の発達段階に応じた平和学習が計画されています。
また、６日の午後から市内の全教職員を対象に、「中間市教員研修」をオンラインで行います。研修では、私と掛橋補佐から、中間市児童生徒の学力や不登校の現状から、新しい時代の学校教育の創造に向けて、今後の中間市教育委員会の取組等についての説明を行います。
１３日から１６日を学校閉庁日としており、管理職を含め年休や夏季休暇等の取得しやすい期間を設定しています。
２学期の始業式は、２６日に小中学校で行われます。
また、２８日が給食開始となります。
続いて、各学校の行事です。
８月は、各校区で小中合同の研修が計画されています。
中間中校区では、２日に中間中、底小、中間小の３校の先生方が集まって、生徒指導の分野に精通している直方二中の林校長を招いて、不登校対応に求められる学校の在り方について研修を行います。
北中校区では、さくら保育園と北小、北中で２６日に夢ネット研修、３０日に合同研修が行われます。２６日の夢ネット研修では、からだ・こころ部会、まなび部会、きずな部会の３部会に分かれて、園、学校の取組の進捗状況について交流していきます。また、３０日の合同研修では、これまでの学力保障の実践を園や学校がそれぞれレポートにまとめ、それを基に協議を深めるものでございます。

南小、南中では、1日に、北九州教育事務所の人権・同和教育室の指導主事を招いて人権研修が行われます。その他の行事では、中間中で、22日、23日に学習教室が行われます。補充的な学習指導ですが、生活リズムを取り戻すこと、家庭学習課題の整理を行うことなど、2学期のスタートに向けた取組となっています。以上でございます。

蔵元教育長 只今の説明について、ご意見ご質問等はございますでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員 6日の中間市教員研修についてです。教育委員会が各学校ごとに、本年度の重点目標を示して、校長会議等を通じて説明されていると思います。校長会議を受けた後、校長先生から先生方に説明があると思います。このような研修の時に教育委員会が直接、重点目標について、各先生方に周知をするということがあっても良いのではないかと考えていますが、いかがでしょうか。2点目は、27日の共通行事の中学校体力向上指導者研修会について説明をお願いいたします。

3点目は、26日から2学期が始まり中間小は教育相談を予定しています。今年は特に暑かったということで子どもたちも非常に疲れている状態かと思っています。子どもたちが新学期になると、いろいろな悩みや心配事、あるいは子どもたち自身で抱え込んでくる問題等があるかと思っています。そのような子どもたちの問題を、先生方と膝を突き合わせながら、解決していくという意味で、他の学校については、どのような対応が図られているのか教えてください。関連して、教育指導計画を見ますと、小中学校とも2ヶ月に1回程度、教育相談が計画されていると思いますが、9月の計画予定を8月に繰り上げて、2学期が始まったときは、必ず教育相談を実施するように学校行事の改訂をすれば、子どもたちの不安もおのずと先生たちの力で解消していくのではないかと思います。いかがでしょうか。

4点目は、中間中のサマースクールと質問教室について、どこが違うのかと、どのような子どもたちがそれぞれに参加をしているのか教えてください。

5点目は、1日の南中の研修（校区連携・ICT）について、どのような内容なのか教えてください。

靄指導室長 6日に行われます中間市教員研修についてです。これは、中間市の教員全てに対して、教育委員会から、基本的な方針や重点目標等について、説明する貴重な機会でございます。この場を通じて、掛橋補佐から全国学力調査の結

果を受けての、これからの授業づくりの方向性や課題を分析して、学校独自の取組を進めていただく等をお話ししていく予定にしています。私からは、今、衛藤委員が言われましたとおり、本年度、中間市が抱えている教育課題を踏まえ、しっかりとベクトルの向きを揃えながら、各学校で取り組み、実践を進めていただけるように、説明をしていきたいと考えているところでございます。

2点目の中学校体力向上指導者研修会についてです。本研修会は、生徒の体力、運動習慣等の課題を県内の中学校保健体育科教員が共有して授業改善に取り組むことで県内中学生の体力向上を図ることを目的に実施しています。毎年、各学校1名の保健体育科教員を対象に、中学生の体力向上につながる授業づくりの講義や実技・演習の研修内容となっています。

3点目の教育相談についてです。ご指摘のとおり、新学期は学校が始まるのを楽しみにしている子がいる一方、心や体の調子がすぐれずに、悩みを募らせやすい時期でもあります。各学校でも、その悩みに向き合うために夏休み明けに、教育相談等の実施を予定しています。中間小のように、夏休み明け翌日から実施するところもあれば、新学期始まっての学級での子どもたちの様子をよく観察してから、9月に入って実施する学校もあります。衛藤教育委員のご意見は、校長会議等でお伝えしていきたいと思います。

4点目のサマースクールと質問教室の違いについてです。サマースクールは、生活リズムを取り戻すこと、家庭学習課題の整理を行うことなどが中心に行われるようになっています。

掛橋学校教育
課長補佐 質問教室につきましては、中学校で9月に実施予定の課題テストに向けた具体的な質問教室になっています。

鶴指導室長 5点目の南中（校区連携・ICT）の研修についてです。
校区連携の研修は、先ほど説明したとおり、北九州教育事務所の指導主事を招いての人権研修になっています。この校区連携とは別に、南中単独での研修として、ICTに関する研修（一人一台端末を効果的に活用した授業づくりについて）を計画しているようです。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員 関連で室長が説明されました中学校体力向上指導者研修会についてです。
中間市の場合は、体力向上に向けて1学期中に各学校でいろいろな取組の工夫をされてます。すでに取組が進められていますので、改めて夏休み中に行

うということは、また何か新しいものを取り入れるのでしょうか。それとも来年度に向けての体制づくりを2学期から進めるためなののでしょうか。

鶴指導室長 今、衛藤教育委員会のご指摘にあったように、後者の方です。この研修を2学期からの授業実践に生かしていただきたいというものでございます。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。八木教育委員。

八木教育委員 出校日に行われる平和学習についてです。それぞれの学年の発達段階に応じた平和学習を行っていくということでしたが、私たちの頃は、6月の沖縄の終戦と8月の出校日で平和学習が重点的に行われていたと思います。廊下に凄惨な写真が白黒で張り出されていて、記憶に残る写真でした。今はそういうこともなかなかできないと思いますので、どのような平和学習の内容なのか教えてください。

2点目は、中間中のサマースクールですが参加者は希望なのか、先生が指名するのか、対象を教えてください。

3点目は、北小の発育測定についてです。各学校で年度初めに実施されると思いますが、それとの違いと意味合いを教えてください。

鶴指導室長 1点目の平和学習についてです。各学校各学年で、それぞれ様々な工夫をしながら、子どもの実態に合わせて行っています。小学校については、先ほど申しましたように、読み物教材を使って話しかけたり、あるいは視聴覚教材や動画等を見ながら話をしたりするなどが中心になっています。

掛橋学校教育課長補佐 中学校におきましては、基本的に原爆に係る内容を中心に学習します。また、原爆が八幡にも落ちていたかもしれないということも含め、近隣の体験を含めた内容も授業に組み込んでいます。

鶴指導室長 2点目のサマースクールについてです。これに参加する子どもについては、今申し上げたように、先生からの声かけをする場合はあると思いますし、もちろん子どもの方から希望するような場合があれば、それを受け入れる体制もとっているのではないかと思います。

3点目の発育測定について、1学期と2学期でどう違うかということですが、すいません確認ができていませんでしたので、わかりましたらお知らせしたいと思います。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。
それでは続きまして、社会教育施設行事について説明をお願いします。

深川生涯学習 8月の社会教育施設の行事について、主なものをご説明いたします。
課長 中央公民館事業です。
夏休み親子ふれあい教室の2教室が開催されます。
3日土曜日10時から、ハピネスなかま本館におきまして、「わくわく科学教室Ⅱ～くらやみで光るオリジナルのキーホルダーをつくろう～」を開講いたします。講師に北九州市立大学国際環境部環境生命工学科エンジニアリング・アドバイザー桑原眸氏をお迎えし、UVレンジと蓄光パウダーを使って、暗闇で光るオリジナルのキーホルダー作りを通して、理科の楽しさに気づききっかけづくりをするとともに、親子の触れ合いを深めることを目的としています。小学生と保護者を対象といたしまして、定員が10組20名のところ、71組157名の申し込みがありましたので、講師と協議を行った結果、15組35名に定員を変更し開講いたします。保護者も一緒に作ることができ、参加費用は材料費が作成者1人500円となっております。
24日土曜日にA班が10時から、B班が13時30分から、生涯学習課仮事務所におきまして、「ジュニア科学教室（手づくり乾電池教室）」が開講されます。本講座は、中間市青少年育成市民会議との共催で実施し、講師に一般社団法人電池工業会の方を迎え、親子で協力して乾電池を作り、電池についての学習と実験を行うことで、科学の不思議に触れ、親子の絆づくりを目的としています。小中学生と保護者を対象といたしまして、定員24組48名のところ、20組42名の申し込みがありましたので、現在定員に達するまで、ホームページに掲載するなどして、追加募集を行っております。費用は無料となっております。
次に体育文化センターです。
2日金曜日8時30分から、令和6年度中間市陸上教室、安川電機ロボット工場見学と食堂体験会を開催いたします。講師に安川電機陸上部の現役選手やOBの方をお迎えし、走ることの楽しさを学び、安川電機のロボット技術やものづくりの魅力に触れることを目的としており、工場見学終了後には、工場内の食堂において昼食をいただくことになっております。小学生を対象といたしまして、参加費は無料です。
また、定例のなかま元気スポーツクラブ及びスポーツ協会自主事業の各種教室を開催予定といたしておきまして、屋島公園内の幼児用プールにおいても、現在開園中でございます。
次に図書館です。

今月は3日から9日まで、「原爆の絵画展」を安全安心まちづくり課との連携事業として開催いたします。この事業は平成19年から取り組んでおり、広島市立基町高校想像表現コースの生徒と、被爆体験証言者による被爆体験者の記憶に残る光景を、共同制作した絵画、「原爆の絵」35点を展示いたします。また、小中学生や高校生などの若い世代向けに、サダコの一生を中心に、戦時中や原爆の犠牲となった子どもたちのことを説明したポスターを展示します。

4日日曜日14時から「戦争と平和事業」朗読会～平和へつなぐ物語～を開催いたします。原爆の絵画展期間中に併せて、なかま朗読の会「朗めぐり」の皆様による平和をテーマにした朗読会を行います。人数は25名を予定しており、この事業も安全安心まちづくり課との連携事業でございます。

10日土曜日1組目が10時から12時まで、2組目が14時から16時まで、11日日曜日1組目が10時から12時まで、2組目が14時から16時まで、市内の小学3年生以上を対象として、図書館のカウンターでの本の貸出しや返却作業などの仕事を体験する「小学生夏休み一日図書館員」を開催いたします。募集人数は、両日ともに4名となっておりまして、午前の部2名と午後の部2名に分れて行われます。

次にハーモニーホールです。

3日土曜日、1部が10時45分から、2部が14時から、大ホールにおきまして、第14回スタインウェイピアノリレー1日目を開催いたします。4日日曜日、1部が10時から、2部が14時から、2日目を開催いたします。出演者は69組を予定しておりまして、演奏時間は前後の準備を含めて5分間とさせていただき、他の楽器とのアンサンブルも可能となっています。入場料は無料で、出演料は一般が1,100円、会員が990円となっています。出演者の方には特典として、演奏中のお写真をプレゼントいたします。

17日土曜日15時から、大ホールにおきまして、「真田ナオキコンサート2024」が開催されます。2016年4月、師匠である吉幾三の作詞作曲による「れい子」でデビュー後、2020年1月にメジャーリリース第1弾シングル「恵比寿」を発売し、自身初のオリコン週間シングル演歌歌謡ランキング1位を獲得しました。その後、2020年間USEN H I T演歌・歌謡曲ランキング第1位、それから第62回日本レコード大賞最優秀新人賞を受賞しています。入場料は一般4,400円、会員は3,960円です。

以上が社会教育施設の主な行事予定でございます。

蔵元教育長

只今の説明について、ご意見ご質問等はございますでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員 1点目は、3日の夏休みふれあい教室わくわく科学教室Ⅱについてです。
71組の応募があっていますが、講師の方と相談して半数も参加できないというのは、今後、工夫する必要があるのではないかと思います。今年は初めてのことでしょうから、仕方ないと思います。来年度もこのような事業を計画される場合は、多くの人に参加するということを前提に計画を立てていただければ、ありがたいと思います。よろしくお願いします。

2点目は、中央公民館事業の市民講座に関するものです。例えば、世界そげなこと講座3回目やおもしろ歴史講座2回目となっておりますが、この内容について教えてください。

3点目は、体育文化センター行事の7日の苦手克服チャレンジ塾についてです。8名ほどの応募を考えているが、先月は1名しか参加していないという報告がありました。今回はどうなっているのか教えてください。

4点目は、総合スポーツ塾のダンスと、ダンス教室低学年は、ダンスの内容が違うと思います。総合スポーツ教室で行われているダンスはどのようなものか教えてください。

5点目は、図書館の原爆の絵画展についてです。参加人数については不特定なのか、それとも一定程度の制限があるのか教えてください。

6点目は、小学生夏休み一日図書館員に4名の子どもたちが参加しますが、何か特典はありますか。

7点目は、ハーモニーホールの30日のハーモニーコンサート vol. 3 with ぶどうの樹について、岡垣のぶどうの樹と関係があるのか教えてください。

深川生涯学習課長 世界そげなこと講座は、8月28日に行われまして、全4回の今回が3回目になります。今回は講師に南米ボリビアのサンタクルス出身の村松ルシーラ様をお迎えして、ボリビアについての講演をいただくような形になっております。受講者数は30名の予定です。おもしろ歴史講座は、8月31日に全4回の2回目が開催されます。講師は、郷土史研究科三浦明彦様をお迎えして、「軍人乃木希典と弟たち」と題しました講演でございます。受講者数は85名を予定しています。

次に、苦手克服チャレンジ塾についてです。前回1名の参加という報告をさせていただいておりました。それでスポーツ協会と協議いたしまして、体験会等をやった方が良いのではないかとということで、それに5名の方の参加がありました。次回の苦手克服チャレンジ塾には現在2名の参加予定となっております。参加費用は1,600円でスポーツ協会の自主事業となっております。

4点目の総合スポーツ教室についてです。なかま元気スポーツクラブの事業となっております。対象は小学生で、通常は走り方や様々な球技を行う形になっております。8日の内容については、現在、参加人数が決まっていないので未定です。29日の総合スポーツ教室【ダンス】は、中間高校の生徒の指導によるヒップホップダンスとなっております。現在、入会者が36名いますので、そちらの方々が参加予定となっております。

5点目の図書館事業の原爆の絵画展についてです。戦争と平和事業の朗読会につきましては、人数が25名を予定しております。絵画展は、人数制限無しでどなたでも見ていただくような形になっています。

6点目の小学生夏休み一日図書館員ですが、こちらにつきましては今のところ特典等は考えておりません。

7点目のハーモニーホールのハーモニーコンサート vol. 3 with ぶどうの樹についてです。岡垣町のぶどうの樹からワインやブドウジュースが提供されるワンドリンクつきで一般2,500円、会員は2,250円のジャズコンサートとなっています。以上でございます。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。太田教育委員。

太田教育委員 先月もご質問させていただいたことと重なるかもしれませんが、社会教育施設行事についてです。特に7月、8月は小中学生が参加できる事業や行事がたくさんあると思います。今回に関しては、まだかもしれませんが、小中学生への案内が申し込み間に合うような時期にチラシ等で案内がされたのか教えてください。もし、まだであれば冬休みなどからでも良いので、子どもたちに、ご案内いただけると良いと思いますので、質問とお願いです。

2点目は、8月3日の夏休みふれあい教室わくわく科学教室Ⅱのニーズが非常に多いようですから、多くの参加が今後できるように、対策をいただけると良いと思っております。

3点目の8月7日の苦手克服チャレンジ塾についてです。内容として、例えば跳び箱とか、何の苦手克服チャレンジ塾なのか具体的な内容を教えてください。それから、時間が1時間で参加費が1,600円と意外と高いと思いました。参加しやすい金額になると、もっと多くの子どもたちが参加できるのかなと思いました。以上でございます。

深川生涯学習課長 1点目の募集の方法ですが、中間市のホームページや広報なかまに掲載いたしまして、幅広く小学生、中学生の方に夏休み体験講座といたしまして、広

くPRはしていますが、もっと校長会や学校に広くPRできるような形で、周知活動をしていきたいと思います。

2点目の苦手克服チャレンジ塾についてです。対象は小学1年生から小学3年生になっております。内容は、鉄棒、跳び箱、ボール遊びというようなものでございます。

大畑生涯学習 中央公民館事業の広報につきましては、6月に小学校と中学校に対してチラシの配布をさせていただいております。もちろん広報なかまにも載せていただいておりますけれども、そういった形でチラシをお配りして、告知をしております。

それから、くらやみで光るオリジナルのキーホルダーについてですが、確かに想定以上の申し込みがありまして、通常であれば1回の人数を増やしたり、また、場合によっては回数を午前、午後にしたりなど、なるべく定員を増やす方向で打ち合わせをしておりますが、この件に関しましては、講師の方が準備できる材料の上限がございまして、どうしても回数が増やせなかったというところもございます。今後、講師次第というところはあると思いますが、例えば、秋とか冬に同様の内容の講座が、開けるならば改めて開きたいと考えております。なるべく、申し込まれた方ができる限り参加できるような形で検討していこうと考えております。以上です。

蔵元教育長 先ほどの苦手克服チャレンジ塾について、1,600円という料金設定については、主催する側ともう少し交渉等を行い、より参加しやすいように検討してください。

衛藤教育委員 夏休みふれあい教室の科学教室については、子どもたちが非常に興味を持っているということで大変良いことだと思います。だから、希望した子どもが全員参加できるような体制をとって実施ができると良いと思いますので、来年からは、多くの参加があるという前提で計画を立てていただきたいと思います。

それから、教育長がおっしゃった苦手克服チャレンジ塾というのは、教室の名称の変更をすべきだと思います。苦手克服では、あの子は苦手なんだと、苦手で参加しているのかというのは良くないと思います。わくわく楽しい教室など名称を変更した方が良いのではないのでしょうか。子どもにとっても、マイナスだと思いますし、参加させる保護者にとっても二の足を踏むと思いますので、参加が少ない現状にもつながるのではないかと思います。

- 深川生涯学習課長 こちらは、スポーツ協会の事業になっておりますので、また協議いたしまして、いただいたご意見と名称につきましては検討していきたいと考えております。
- 蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。八木教育委員。
- 八木教育委員 中央公民館事業の9日にあるスマホによるLINE入門講座についてです。こちらは好評な事業で、私の母親も参加してすごく良かったということですが、今までにキャッシュレスに関する講座はあったのでしょうか。
- 大畑生涯学習課長補佐 キャッシュレス講座につきましては、昨年度、一昨年度も実施しています。今年も同様の内容を実施するかは、まだ検討中です。
- 八木教育委員 テレビでQRコード決済の入門というのをやっけていまして、私の両親も高齢ですが、一度教えるとすごく簡単だということです。敷居が高いようで、実際やってみると、すごく簡単だということに気づくと思います。このような講座はニーズに合うと思いますので、増やしていただければと思っています。
- 衛藤教育委員 関連で、私もキャッシュレスの講座に参加しました。paypayとaupayが中心でした。今はいろいろなものが使えますから、もっと広げていただきたいと思います。特に、キャッシュレスの場合は、中間市が実施しているデジタル地域振興券が、自分のスマホでできるようにならないと、やはり無理だと思います。講座に参加して、中間市デジタル地域振興券を使えるようになれば、もっと喜ぶ方が多いと思いますし、参加者も増えると思います。私が参加して、経験した意見です。
- 蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。
ないようですので、続きましてその他で何かございますでしょうか。衛藤教育委員。
- 衛藤教育委員 8月6日の出校日についてです。今コロナが非常に蔓延しております。皆さんもマスクをしています、6日の出校日は、子どもたちが多分、マスクをしてこないかと思って心配しています。マスクをしてくれば、かなり基本的な感染対策になるということですから、集団になりますので、マスクをしてくるようにという配慮が必要なのではないでしょうか。

- 鶴指導室長 出校日の件につきましては、今のところの感染状況ですけれども、教育委員会として一番心配しているのは、熱中症に対する対応でございます。登下校中にこれだけの酷暑ですので、出校日をどうしたものかと正直考えたところもあるところでございます。それで、教育委員会と学校とで、連名で保護者向けに、あんしんネットを使って、出校日における熱中症への対応についてのお願いで文書を発出するようにしております。その中では、しっかりと睡眠と朝食をとって、体調を整えてから登校してください。登校する際は、帽子を着用したり、水分を多く持たせてください。保護者の判断で必要であれば、体温調整に必要な保冷具や日傘など、そういったものも使用していただいても構いません。そして、マスクの件ですが、登下校中にマスクというのは逆に、熱中症のリスクも高まる危険性もございますので、屋外で人と十分な距離が確保できる場合には、逆にマスクは外すようにという案内を出すようにはしております。そういった文書を発出するように、今のところは考えています。
- 衛藤教育委員 屋内については、マスクで基本的な対策はできるとテレビでも言っております。だんだんコロナに対する意識も薄れていっていますので、再度認識する意味でも、マスクは室内では支障のない程度で着用するように6日にアドバイスする必要があるのではないのでしょうか。よろしくお願いします。
- 蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。
ないようですので続きまして、令和6年9月定例教育委員会の日程について説明をお願いいたします。
- 山口教育総務課長 9月の定例教育委員会の日程につきましては、9月4日水曜日午前10時から別館3階の特別会議室にて開催したいと考えております。中間市議会の定例会が9月3日火曜日から開催されますことから、日程につきましては、第1火曜日ではなく水曜日とし、会場につきましても第1委員会室ではなく、特別会議室にて開催したいと考えております。ご協議をよろしくお願いいたします。
- 蔵元教育長 それでは、日程につきましていかがでしょうか。
- 教育委員 <<承認>>

蔵元教育長 それでは、その他で何かございますでしょうか。

蔵元教育長 ないようですので、以上をもちまして令和6年8月定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

[閉会時刻：10時52分]

令和 6 年 9 月 4 日

教育委員

太田 かおり

教育委員

衛 藤 修身